

東日本大震災により被災した幼児児童生徒の 学校における受入れ状況について【Q & A】

(平成28年8月19日)

※ 受入れ状況調査の回答に際しては、本Q & Aも御参照ください。

問1 福島県から避難してきた児童について、当初は〇〇県内のA小学校において受け入れ、その後、同一県内のB小学校に転学した例がある。

この場合、「福島県から受け入れた数」と「都道府県内の学校から受け入れた数」のどちらに計上すべきか。

答1 「福島県から受け入れた数」に計上してください。

本調査は、東日本大震災の影響により、どれだけの幼児児童生徒が、当時通っていた学校から、他都道府県等の別の学校で受け入れられたかを把握する調査です。このため、把握可能な範囲で、幼児児童生徒の当時の出身県に基づき回答してください。

なお、都道府県をまたいで移動した場合でも、同様の理由から、「福島県から受け入れた数」に計上することとなります。

問2 ①宮城県から避難してきた児童Aを、平成23年4月に〇〇県内の小学校において受け入れたが、同年10月に宮城県の学校に転学していった。

②その後、平成28年4月から、同じ児童Aを、再度〇〇県内の小学校において受け入れることとなった（東日本大震災の影響によるものであると確認されている。）。

この場合、〇〇県における児童Aの計上の仕方はどのように考えればよいか。

答2 「宮城県から受け入れた数 1名」として計上してください。

児童Aが宮城県から避難してきたことを踏まえ、平成28年5月1日現在で在籍している学校の所在する〇〇県において、宮城県から受け入れた数として計上することとなります。

問3 平成28年度に新たに学校に入園・入学してきた幼児児童生徒であって、東日本大震災の影響により避難してきている幼児児童生徒については、受入れ状況に計上するのか。

答3 平成28年度に新たに学校に入園・入学してきた幼児児童生徒であって、東日本大震災の影響により避難してきている幼児児童生徒の受入れ状況の計上に当たっては、

- ・ 幼児については、「転入園」又は「事実上の就園」
- ・ 公立学校で受け入れた児童生徒については、「区域外就学以外の転入学」、「区域外就学による転入学」又は「事実上の就学」
- ・ 国立又は私立学校で受け入れた児童生徒については、「転入学」又は「事実上の就学」

に、それぞれ把握可能な範囲で計上してください。

なお、東日本大震災以降に産まれた幼児に関しては、計上しないでください。